



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月2日

上場会社名 株式会社 サンユウ

上場取引所 東

コード番号 5697 URL <http://www.sanyu-cfs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西野淳二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員財務部長 (氏名) 加藤和彦

TEL 072-858-1251

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	15,440	28.1	815		883	561.6	514	
2021年3月期第3四半期	12,049	22.6	32		133	62.3	16	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 590百万円 (3,800.1%) 2021年3月期第3四半期 15百万円 (93.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	85.14	
2021年3月期第3四半期	2.80	

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	17,827	9,299	48.4	1,426.95
2021年3月期	17,264	8,758	47.2	1,347.97

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 8,625百万円 2021年3月期 8,147百万円

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		6.00	6.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	22.5	940	537.4	1,020	188.7	580	414.4	95.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	6,091,000 株	2021年3月期	6,091,000 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	46,496 株	2021年3月期	46,496 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	6,044,504 株	2021年3月期3Q	6,044,504 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス用ワクチン接種が本格的に実施され、また、製造業を中心に一部で回復傾向が見られるなど明るい兆しもありましたが、新たな変異株による感染拡大も始まり、先行き不透明な状況が続いております。

わが国のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線業界の主要需要家である自動車業界では、需要自体は堅調であるものの、新型コロナウイルスの影響により半導体や東南アジアからの部品の調達に支障が生じたため、生産の一部遅延などの影響が発生しました。建産機業界におきましては、これまでのところ概ね無難な推移を辿っております。

このような経営環境下、当社グループは全社を挙げて販売数量の確保に努めるとともに、材料価格の値上げに伴う販売価格への転嫁及び固定費を始めとしたコスト削減に注力し、収益の確保に取り組みしました。

これらの結果、販売数量は85千トン（前年同四半期比19.1%増）となり、売上高も15,440百万円（前年同四半期比28.1%増）となり、損益につきましては、売上高の増加とトン当たり製造経費の減少に伴い、営業利益は815百万円（前年同四半期は営業損失32百万円）、経常利益は883百万円（前年同四半期比561.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は514百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失16百万円）となりました。

事業部門ごとの業績は、次のとおりであります。

まず、みがき棒鋼部門におきましては、販売数量は53千トン、売上高は10,456百万円（前年同四半期比29.4%増）となりました。

次に、冷間圧造用鋼線部門におきましては、販売数量は32千トン、売上高は4,984百万円（前年同四半期比25.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は17,827百万円となり、前連結会計年度末に比べ562百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が784百万円、有形固定資産が221百万円それぞれ減少いたしました。電子記録債権が338百万円、商品及び製品が380百万円、原材料及び貯蔵品が794百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は8,527百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が130百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が190百万円それぞれ減少いたしました。支払手形及び買掛金が325百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は9,299百万円となり、前連結会計年度末に比べ541百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を踏まえ、通期業績予想について修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2月2日）公表いたしました「2022年3月期通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,571,438	2,786,845
受取手形及び売掛金	3,969,481	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	4,005,587
電子記録債権	1,221,303	1,559,363
商品及び製品	1,641,883	2,022,843
仕掛品	245,273	254,771
原材料及び貯蔵品	1,215,395	2,009,405
その他	41,189	101,690
貸倒引当金	△28,382	△31,561
流動資産合計	11,877,582	12,708,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,345,759	1,268,289
機械装置及び運搬具（純額）	1,660,524	1,521,042
土地	1,873,170	1,865,970
リース資産（純額）	59,199	57,842
建設仮勘定	11,566	28,684
その他（純額）	77,557	64,390
有形固定資産合計	5,027,778	4,806,221
無形固定資産		
のれん	53,275	38,745
その他	63,122	50,010
無形固定資産合計	116,397	88,756
投資その他の資産		
投資有価証券	60,212	58,843
出資金	70,110	70,100
長期貸付金	7,857	7,109
繰延税金資産	78,988	66,124
その他	25,511	20,917
投資その他の資産合計	242,681	223,095
固定資産合計	5,386,857	5,118,073
資産合計	17,264,439	17,827,019

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,542,583	4,868,411
短期借入金	1,850,000	1,720,000
1年内返済予定の長期借入金	216,588	179,964
リース債務	29,471	28,456
未払法人税等	49,996	216,122
賞与引当金	169,168	81,598
その他	473,626	489,328
流動負債合計	7,331,434	7,583,880
固定負債		
長期借入金	868,592	715,100
リース債務	34,475	34,497
繰延税金負債	54,299	49,097
退職給付に係る負債	92,256	80,695
債務保証損失引当金	60,333	—
資産除去債務	64,197	64,242
その他	360	—
固定負債合計	1,174,515	943,631
負債合計	8,505,949	8,527,512
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,513,687	1,513,687
資本剰余金	1,303,508	1,303,508
利益剰余金	5,346,668	5,825,000
自己株式	△21,392	△21,392
株主資本合計	8,142,471	8,620,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,348	4,392
その他の包括利益累計額合計	5,348	4,392
非支配株主持分	610,669	674,311
純資産合計	8,758,489	9,299,506
負債純資産合計	17,264,439	17,827,019

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	12,049,540	15,440,688
売上原価	10,522,292	12,955,011
売上総利益	1,527,248	2,485,677
販売費及び一般管理費		
運搬費	384,168	434,315
給料及び手当	466,625	473,260
賞与引当金繰入額	38,982	36,134
退職給付費用	9,581	17,119
減価償却費	90,021	78,611
のれん償却額	14,529	14,529
その他	555,971	616,568
販売費及び一般管理費合計	1,559,879	1,670,539
営業利益又は営業損失(△)	△32,630	815,137
営業外収益		
受取利息	147	135
受取配当金	7,366	5,494
受取賃貸料	37,367	37,777
受取保険料	1,378	—
雇用調整助成金	135,648	37,076
その他	5,553	7,768
営業外収益合計	187,461	88,251
営業外費用		
支払利息	5,398	4,746
賃貸費用	12,633	12,180
その他	3,220	2,756
営業外費用合計	21,251	19,683
経常利益	133,578	883,705
特別利益		
固定資産売却益	93	4,465
特別利益合計	93	4,465
特別損失		
固定資産除却損	571	7,843
固定資産売却損	—	1,900
投資有価証券評価損	—	1,327
債務保証損失引当金繰入額	59,766	—
特別損失合計	60,337	11,071
税金等調整前四半期純利益	73,334	877,100
法人税、住民税及び事業税	45,809	277,723
法人税等調整額	16,721	8,195
法人税等合計	62,530	285,918
四半期純利益	10,804	591,181
非支配株主に帰属する四半期純利益	27,727	76,582
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,923	514,598

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	10,804	591,181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,325	△1,113
その他の包括利益合計	4,325	△1,113
四半期包括利益	15,129	590,067
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,818	513,642
非支配株主に係る四半期包括利益	28,948	76,425



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

1. 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしておりますが、この基準等の適用が当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

なお、収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。

2. 時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。これによる当第3四半期連結財務諸表に与える影響はありません。